

協同組合関係者の皆様

ICA-AP 女性委員会よりご挨拶申し上げます。

今年の国際女性デーのテーマは、「女性に投資を。さらに進展させよう」です。このテーマは、豊かな経済を創造し、持続可能な社会を確保するために、ジェンダー格差の是正に向けた行動に焦点をあてたものです。国連女性機関は、このテーマについて共同して行動が必要とされる以下の5つの主要分野について特定しています。それは、(1)人権問題としての女性への投資、(2)貧困に終止符を打つ、(3)グリーン経済とケア社会への移行、(4)ジェンダーを配慮した資金調達の実施、(5)フェミニスト・チェンジ・メーカーの支援です。

過去 25 年間にわたって、ICA-AP 女性委員会は、今年の国際女性デーのメッセージに共鳴する数多くの取り組みを行ってきました。設立以来、当委員会は、様々なプログラムを通じて、その時々ニーズに応じた女性の能力開発に取り組むと同時に、アジア太平洋地域の女性協同組合関係者が自らの存在をアピールし、意見や経験を述べ、つながりを築くための国際的なプラットフォームとして機能してきました。今年度も、当委員会は、1) 経済的エンパワメント 2) 社会的エンパワメント 3) 知識・教育・訓練 4) 連帯を新たに戦略的柱に据えて、活動を展開しています。

女性委員会とそのメンバーは、女性に投資し、各々の組織とその業務ラインにおいてジェンダー主流化を推進するために、重要かつ体系的な措置を講じてきました。それは、女性委員会やジェンダー平等委員会の設置、管理職や指導的地位への女性の登用を提唱、年齢や経験、社会的背景に関係なく女性に平等な機会を与えることなどによって、協同組合における多様性とジェンダー・インクルージョンを推進してきました。

アジア太平洋地域における女性協同組合関係者への投資は、女性のエンパワメントと持続可能な開発に関して望ましい結果をもたらしています。

いくつか事例をご紹介します。全ての人に対して貧困に終止符を打つために、**インドのグジャラートマヒラ信用協同組合 (GMCC)** は、起業、マイクロクレジット、保健、教育など様々な分野で

女性への支援と指導を行っています。女性の組合員のための技能研修プログラムは、雇用と起業の新たな道を開き、社会における彼女たちの経済的地位を向上させました。

ケア社会を目指し、**韓国**の **iCOOP** は、「倫理的消費」の推進から「癒しと回復」、「ライフケア運動」へと進化させ、組合員が安心して暮らすことのできる健康な社会の創造と地球環境保護に向けた活動しています。**マレーシア**の **ANGKASA** は、(ANGKASA の) 女性委員会を通じて幼稚園や保育施設を支援し、子どもたちにより良い環境を提供するだけでなく、働く女性が効果的にキャリアを追求できるようにしています。**イラン**の **Rah-e-Roshd Educational Complex (RCEC)** は、1985 年に 7 人の母親によって幼稚園設立から始まり、教育を受けた女性に持続可能な仕事を提供し、国内最大の教育協同組合として子どもたちに豊かな環境を提供しています。

ジェンダー平等を推進するために、**ネパールの協同組合運動**は協同組合のガバナンスと意思決定における女性の登用を提唱し、成功を収めています。ネパールの協同組合法では、協同組合の理事会において 33%の女性比率を確保することが義務付けられ、組織のガバナンスと効率性が改善され、地域社会における女性のエンパワーメントにつながりました。**オーストラリア**の **BCCM (協同組合・相互事業評議会)** が行った調査では、オーストラリアの協同組合・相互事業セクター (CMEs) 上位 100 社の理事長および最高経営責任者 (CEO) の男女比が大幅に改善したことを明らかにしました。2022 年には、CME 上位 100 社の最高経営責任者の 23%が女性でした。

このように、ICA-AP 女性委員会における最近の議論や報告では、アジア太平洋地域の協同組合運動がジェンダー平等へのコミットメントにおいて順調に進展していることを示しているものの、前途は単純ではありません。私たちは、効果的、可視的かつ持続的に影響力をもたらすための革新的な手段を見つける必要があります。

また、交錯する課題の中で、ジェンダー平等の達成は依然として遠い目標にとどまっています。国際女性機関アジア太平洋地域の「アジア太平洋地域における女性のリーダーシップに関するスナップショット」では、「アジア太平洋地域では、リーダーや変革の担い手としての女性の役割がますます認識されるようになっている。近年、政府機関、政党、企業、各業界がジェンダー平等に向けて動き出しているが、その進展は依然として緩慢である」と述べています。このことは、女性への投資

が総合的に必要であること、つまり資源配分だけでなく、女性が学び、成長し、繁栄するための公正で公平な機会を与えることが必要であることを指摘しています。

すべての人が手を携え、持続可能な発展を続けることができるよう、アジア太平洋地域の協同組合関係者の皆さんには、女性の声に耳を傾け、理解し、認めるための場づくりと対話のための時間をつくり続けることをお願いしたいと思います。

ICA-AP 女性委員会 委員長
新井ちとせ